

一般社団法人 Teena Light 代表 山辺雄翔氏（立山町出身、現・青山学院大学 3 年生） による講演会

テーマ：「後悔の最小化 ～自ら社会の中で役割を見出す力～」

11月22日（金）の4時間目に、山辺雄翔氏をお招きし、上記のテーマで講演会が開催されました。山辺氏は高校在学中に18歳で起業を果たし、その経験をもとに、自発的に行動する力の重要性について語ってくださいました。また、生徒の進路選択や将来に対する悩みや不安にも触れ、ご自身の人生観から貴重な助言をいただきました。

生徒の感想より

講演では、「できない」ことに囚われるのではなく、「できる」ことに目を向ける大切さが強調されました。目の前のチャンスや課題に積極的に取り組む姿勢が大切だと思いました。



先生や家族以外の大人と関わるのが重要だと感じた。これまでその機会が少なかった自分にとって、チャンスを待つだけでなく、自ら行動することの大切さに気付かされた。

大学進学がゴールではなく、その先を見据えることが大切だと強く感じた。自分を知るためには多くの経験が必要だと実感した。山辺さんのようになるのは簡単ではないが、自分なりに前向きに進んでいきたいと思う。

高校で起業し学業と両立させていたことや、大学に通いながら子供を助ける幅広い活動を続けている姿に驚き、大学進学が決してゴールではないと気付かされた。

山辺さんが高校生で起業し、現在も活動を続けていることに驚きました。特に、コロナ禍でボランティアを行い、自分にできることを見つけて行動していた姿が印象的でした。振り返ると、自分は中学生の頃、何も行動を起こさず家で過ごしていたため、あのとき自分にもできることがあったのではないかと考えるきっかけとなりました。

山辺さんがコロナ禍で目標を失いながらも諦めず、新しい挑戦で未来を切り開いた話が印象的でした。その姿から、どんな状況でも柔軟に対応し、行動することの大切さを学びました。これからは環境のせいにはせず、自分の役割を見つけ、失敗や困難を成長の糧にしたいと思います。